

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局
E-mail：Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217
HP：http://sagamihara-koureikyo.org/

●相模原市高齢協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

●職員親睦会（リアル宝探し）開催

10月13日、高齢協会員の施設職員の親睦をはかる目的で「リアル宝探し」イベントが、さがみ湖リゾートプレジャーフォレストにて開催されました。雨模様の天気にもかかわらず、参加者88名という大人数。大盛り上がりとなりました。

ゲームは、7～8人のグループ、11チームに分かれ、定められたルールに従って宝箱を探し出すという「ミッション」をこなし答えを探すというもの。1時間半という制限時間内で成績を競い合うエキサイティングな内容です。ゲーム修了後は、バーベキューを楽しみながら結果発表と表彰式が行われました。ゲームもさることながら、バーベキューも、火おこしから調理にいたるまで一致した団結力が問われます。

ゲームの答えは「信頼の絆」.....グループで結束しつつ、知恵を出し合って協力する「チームワーク」の大切さや醍醐味を参加者それぞれが、それぞれに味わっていた様子でした。普段は顔を合わす機会も少ない、ほとんど初対面の人たちと知り合う機会でもあり、今後、施設間での職務面での交流にも活かされるであろう絶好の機会でした。また、来年が楽しみです。



「宝探し」開始。エイエイオー！



ミッションは何？...さあさあ。
謎解きのはじまり、はじまり～



パディントンベア。
見つけたよ～！



優勝は「さがみんチーム」
景品は何でしょうね？



みんなでバーベキュー。
なかなか火がつかない～

●「相模原市高齢者保健福祉計画」素案の答申書を提出

「第7期相模原市高齢者保健福祉計画」の策定に当たり、素案の審議が進行しています。

10月10日、相模原市社会福祉審議会 高齢者福祉等専門分科会では、意見・要望を取りまとめ、相模原市に対して答申書を提出しました。

当日は、副市長、健康福祉局長、保険高齢部長同席の中、同分科会の戸塚会長（相模原市社会福祉協議会会長）と職務代行である高齢協、大久保会長が面会をいたしました。答申内容は以下の通りです。



1. 介護保険制度改正への的確な対応について
2. 地域包括システムの深化・推進に向けて
3. 自立支援、介護予防・重度化防止に向けて
4. 在宅医療・介護連携の推進について
5. 介護人材の確保・定着・育成について
6. 介護サービスの適切な整備と指導体制の強化について
7. 計画の着実な推進について

●公開講座「住み慣れた地域で人生を最後まで過ごせる社会を目指して」開催

10月16日、「住み慣れた地域で人生の最後まで過ごせる社会を目指して～死を前にした人にあなたは何か出来ますか？」と題して、横浜市にある「めぐみ在宅クリニック」院長、小澤竹俊先生を講師に迎えた公開講座を開催しました。

高齢化が進む中、在宅での「看取り」の重要性が叫ばれる昨今。医師や看護師など医療専門職だけでなく、介護従事者や子どもまで、誰もが「看取り」に関わることが求められています。長年にわたる在宅診療での緩和ケアの実践を踏まえ、豊富な実例、体験談なども交えながら意義深い講座となりました。

参加者は約100名もの大人数。看護職はじめ医療専門職や施設管理者が目立ちましたが、皆さんそれぞれに確かな目的意識を持って熱心に聴き入っている様子でした。

小澤竹俊 先生 プロフィール

1963年東京生まれ。世の中で苦しんでいる人のために働きたいと願い医師を志し、1987年東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業。1991年山形大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。救命救急センター、農村医療に従事した後、94年より横浜甞生病院 内科・ホスピス勤務。1996年にはホスピス病棟長となる。2006年「めぐみ在宅クリニック」を開院。院長として現在に至る。



「自分がホスピスで学んだことを伝えたい」との思いから、2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。一般向けの講演も数多く行い、「ホスピスマインドの伝道師」として精力的な活動を続けてきた。2013年より、人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始し、多死時代にむけた人材育成に取り組み、2015年、有志とともに一般社団法人「エンドオブライフ・ケア協会」を設立し、理事に就任。現在に至る。今年3月に放映されたNHKの番組「プロフェッショナル仕事の流儀」でもその働きぶりが紹介された。

●各種イベント・活動報告

◆ イベント

10月13日 相模原市高齢協職員親睦会 於 さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト

◆ 行政との合同会議

10月 2日 政策課懇談会

◆ 定例・通常会議

10月11日 理事会

10月25日 事務局会議

10月12日 介護助手事業会議

◆ 部会

9月22日 南区施設長会懇親会

10月20日 単独デイ部会

10月16日 特養部会・介護看護職員会



●賛助会員

愛知金物建材株式会社
株式会社ウェブトラス
株式会社タマパーク

Office CPSR

(臨床心理士・社会保険労務士事務所)

株式会社ケイ・アース

株式会社みらい

株式会社ディフェンス

アライブかながわ

住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅

日興テクノス株式会社

株式会社八千代銀行 相模原法人営業部

株式会社ナリコマエンタープライズ

株式会社IDO

敬称略／加盟順

株式会社コンティ
守屋綜合法律事務所
千寿産業株式会社

株式会社三ノ輪建設

望月史郎公認会計士事務所

シープラス株式会社

株式会社中島建設

住宅型有料老人ホーム 勢水

住宅型有料老人ホーム あんず

合同会社アール

株式会社永田屋

日本ゼネラルフード株式会社

相模原商事株式会社

●事務局より

季節はあっという間に秋から冬へ。世の中はいろいろなことがどんどん進展しています。高齢者福祉を取り巻く状況も大きく変化しています。平成37年には、団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、人類がかつて経験したことのない『超・超高齢社会』を迎えることになると言われてしています。いわゆる『2025年問題』。高齢者の人口が3500万人。どんな社会になるのでしょうか。国も地方も市民も一丸となってしっかりと備えておかなければならない、まったなしの課題ですね。

さて、広報誌も第5号発行の運びとなりました。「月刊」とさせていただいておりますので、月内にお配りできるよう努力しております。施設や職員の紹介、イベント案内など、どんなものでも結構です。皆様からのご意見、情報をどんどんお寄せください。

どうぞ、ご協力をお願いいたします。

連絡先は、相模原市高齢協事務局（広報誌担当）まで

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20（あじさい会館内）

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217 E-mail：Sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp